

厚生労働科学研究補助金

地球規模保健課題解決のための行政政策に関する研究事業

Universal Health Coverage (UHC) の推進のための世界の保健医療情報システム革新の効果検証に資する研究

令和4年度研究報告書

研究代表者：小林慎治

# 目次

A. 研究目的 .....	1
B. 研究方法 .....	2
C. 研究結果 .....	2
1. 研究の背景と概要 .....	2
2. WHO のデジタルヘルスによる UHC 達成戦略の概要 .....	3
2.1 デジタルヘルスについての世界的戦略ビジョン .....	3
2.2 デジタルヘルス世界戦略の目的 .....	3
2.3 デジタルヘルスの指導原則 .....	4
2.4 デジタルヘルスの戦略的目標 .....	4
デジタルヘルスにむけたフレームワーク .....	4
2.5 戦略と行動計画の実施 .....	5
2.6 モニタリングと評価 .....	5
3 デジタル実装投資ガイド .....	5
3.1 概要 .....	5
3.2 計画と実装 .....	6
3.3 チームの編成および目的設定 .....	8
3.4 医療システムの課題とニーズを特定する .....	9
3.5 適切なデジタルヘルス介入策を定める。 .....	11
3.6 実装を計画する .....	13
3.7 デジタルヘルス実装にエンタープライズアーキテクチャをリンクさせる .....	15
3.8 予算を立てる .....	15
3.9 実装をモニタリングし、効果的にデータを使用する .....	16
3.10 バリュプロポジションおよび次のステップ .....	16
3.11 まとめ .....	16
4. ISO TR/14639 Health Informatics Capacity-based eHealth architecture roadmap .....	17
4.1 国家 eHealth イニシアティブの概要 .....	17
4.2 各国のイニシアティブとその評価 .....	17
4.3 成熟度評価 .....	18
4.4 今後の検討事項 .....	20
5. Global Digital Health Index .....	22
5.1 概要 .....	22
5.2 GDHI による国際比較 .....	22

5.3 GDHI 考察 .....	23
D. 考察 .....	25
E. 結論 .....	26
参考資料 1 各国の Global デジタルヘルス Index の分野別指標レーダーチャート .....	27
参考資料 2 HIMSS DHI 受診について .....	36

令和4年度厚生労働科学研究補助金（地球規模保健課題解決のための行政政策に関する研究事業）  
総括研究報告書

## Universal Health Coverage (UHC)の推進のための世界の保健

### 医療情報システム革新の効果検証に資する研究

研究代表者

小林 慎治 国立保健医療科学院保健医療情報政策研究センター 上席主任研究官

#### 研究要旨

本研究では UHC 推進のための支援のためのデジタルヘルス政策について研究した。まず、デジタルヘルスの成熟度を表す指標について、世界銀行の ICT アクセス指標や CRVS(Civil Registration and Vital Statistics)の準備状況、電力消費量などを検討したが、Global Digital Health Index(GDHI)が総合指標として有用であることが分かった。GDHI と UHC Service Coverage Index(SCI)の間には相関がみられ、デジタルヘルスを成熟させることが UHC 達成に繋がることが示された。GDHI の 7 指標と UHC SCI で正の相関を示した指標は、Legislation, Service and application, Infrastructure であった。UHC 達成度の低い国、デジタルヘルス成熟度の低い国に特徴のあるパターンについて検討を行ったが特別な傾向は見いだせなかった

次に、WHO のデジタルヘルス支援戦略について調査を行った。WHO Global Digital Health Strategy 2020-2025, Digital Implementation Investment Guide, ISO/TR14639, Health Informatics, Capacity-based eHealth architecture roadmap を翻訳し内容を検討した。WHO は 2000 年代よりデジタルヘルスへの投資戦略を検討してきており、GDHI をはじめとした評価ツールを用いて、効率よい投資策を提言しており日本からのデジタルヘルス支援策においても有用であると考えられた。

#### <研究分担者>

児玉 知子 国立保健医療科学院 公衆衛生政策研究部（国際協力研究領域） 上席主任研究官

種田憲一郎 国立保健医療科学院 公衆衛生政策研究部（国際協力研究領域） 上席

主任研究官

黒田知宏 京都大学・医学研究科・教授

#### A. 研究目的

本研究は2年間でUHC(Universal Health Coverage)を達成するために有効な